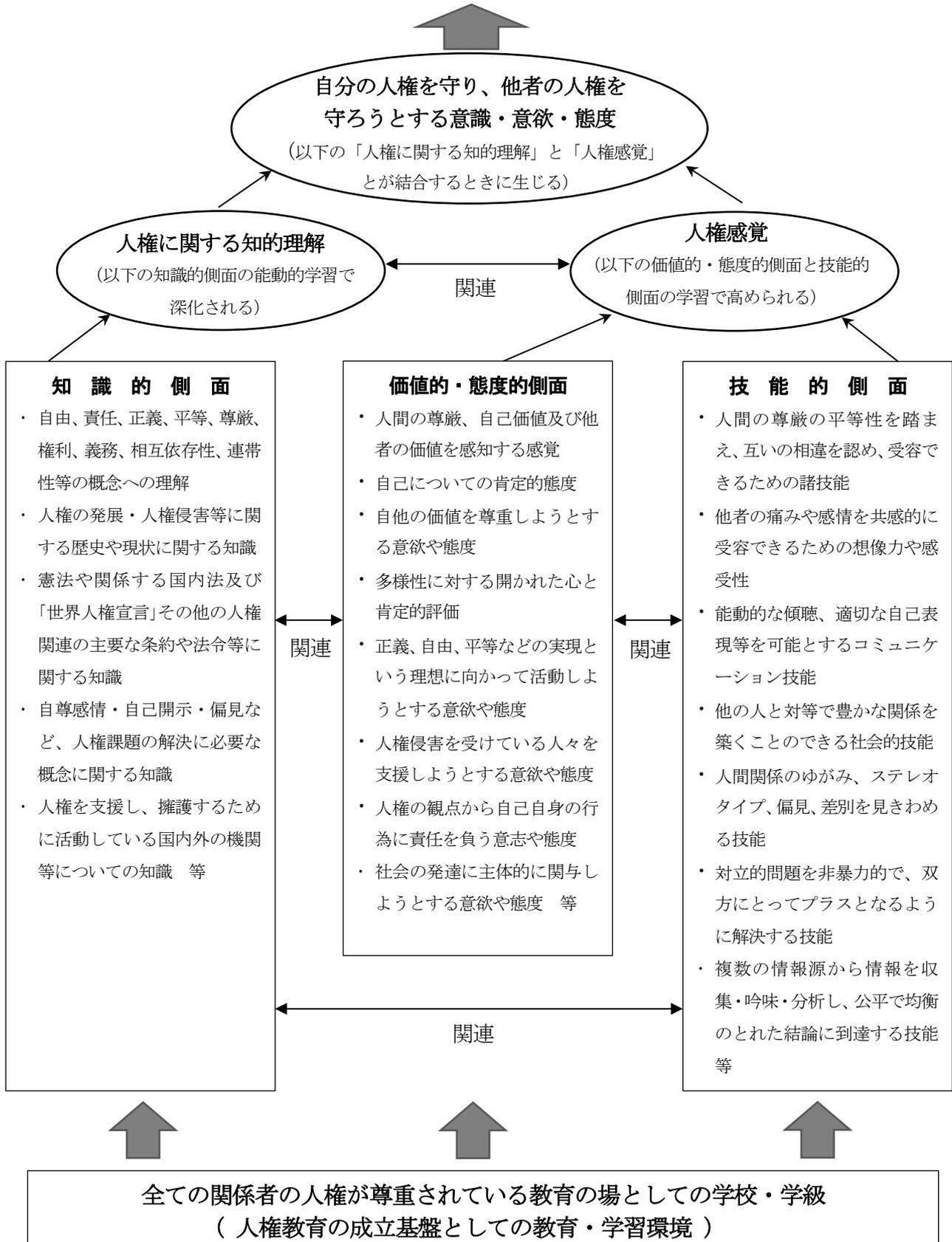


人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ] より

(参 考)

人権教育を通じて育てたい資質・能力
自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動



人権教育を通じて育てたい資質・能力

知識的側面	1	自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解
	2	人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識
	3	憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識
	4	自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識
	5	人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識

価値的・態度的側面	6	人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚
	7	自己についての肯定的態度
	8	自他の価値を尊重しようとする意欲や態度
	9	多様性に対する開かれた心と肯定的評価
	10	正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度
	11	人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度
	12	人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度
	13	社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度

技能的側面	14	人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能
	15	他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性
	16	能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能
	17	他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能
	18	人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能
	19	対立的問題を非暴力的で、双方にとってプラスとなるように解決する技能
	20	複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能